

東輝・詳徳中学校ブロック適正化実施計画(修正案)

具体方策

- 安詳小学校区の一部を詳徳小学校区とつつじヶ丘小学校区に移行し、教室不足に対処する。
- つつじヶ丘小学校区の一部を南つつじヶ丘小学校区に移行し、両校の全ての学年で複数学級を維持する。
- 上記の見直しに合わせて、東輝中学校区(亀岡中学校区)と詳徳中学校区を見直すことで、両中学校ブロックの1中2小を実現し、小中一貫教育をさらに推進する。

現行どおり

中学校	生徒数		小学校	児童数	
	H27 (実数)	H33 (推計)		H27 (実数)	H33 (推計)
詳徳	325	330	詳徳	267	230
			安詳	865	880
東輝	699	720	南つつじヶ丘	371	275
			つつじヶ丘	721	610
亀岡	577	(80)			

見直し後

適正規模 360～540

中学校	生徒数		小学校	児童数	
	H27 (実数)	H33 (推計)		H27 (実数)	H33 (推計)
詳徳	325	555	詳徳	267	335
			安詳	865	670
東輝	699	575	南つつじヶ丘	371	380
			つつじヶ丘	721	610

※何れも推計値には、宅地開発による転入等の社会増を見込んでいない。

東輝・詳徳中学校ブロックにおける児童生徒数の推移

学校及び地区名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	小計	備考
東輝中学校	184	202	202	222	217	275	1,302	229	234	258	233	245	237	1,436	245	225	266	736	
つつじヶ丘小学校	82	103	99	84	119	124	611	114	112	129	119	139	115	728	134	123	162	419	
広田3丁目	3	2	3	3	5	5	21	3	7	3	3	4	7	27	9	9	9	27	
曙台1丁目	1	2	2	0	3	3	11	4	0	3	4	2	4	17	4	1	4	9	
曙台2丁目	1	3	4	3	5	6	22	3	8	3	2	8	6	30	6	6	5	17	
曙台3丁目	0	4	1	2	5	2	14	5	5	3	3	3	2	21	1	1	5	7	
曙台4丁目	4	4	6	2	9	12	37	14	16	24	25	22	26	127	27	21	35	83	
亀岡東部地区	22	24	20	25	29	23	143	27	28	27	26	25	22	155	18	24	24	66	
南つつじヶ丘小学校	35	38	38	55	45	64	275	48	56	72	60	61	74	371	69	72	65	206	
安詳小学校	128	138	137	158	138	180	879	155	161	140	140	137	127	860	140	124	132	396	
野条(国道南部地区)	2	1	1	4	3	7	18	4	5	1	6	4	4	24	2	5	4	11	
夕日ヶ丘周辺地区	65	61	68	82	57	80	413	66	65	64	53	35	40	323	31	27	20	78	
森	22	23	16	22	22	23	128	24	24	19	21	31	26	145	27	22	39	88	
馬堀駅前2丁目	5	6	4	5	2	8	30	4	6	6	9	8	4	37	8	7	7	22	
見晴1丁目	4	4	3	2	6	0	19	6	3	2	5	5	3	24	8	6	3	17	
詳徳小学校	29	48	43	39	42	29	230	52	45	54	52	44	46	293	38	47	52	137	
詳徳中学校	68	101	95	89	98	99	550	113	112	110	112	111	103	661	118	117	121	356	

※人数は、H28年4月1日現在の住民基本台帳人口（私学や支援学校等への進学者を含んでいる）

東輝・詳徳中学校ブロック適正化実施計画（修正案）

【実施方法】

（小学校区）

	修正前	案 1	案 2
実施年度	平成 3 0 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度
方法	・新 1 ～ 6 年生（現 4 歳児～ 4 年生）まで全て移行し、新 6 年生は選択制 ・従来校に兄弟がいる場合は、平成 3 0 年度に限り特例を認める	・新 1 年生（現 4 歳児）から移行し、従来校に兄弟がいても特例は認めない ・新 2 ～ 6 年生は選択制	・新 1 ～ 6 年生（現 3 歳児～ 3 年生）まで全て移行し、新 5 ・ 6 年生は選択制 ・従来校に兄弟がいても特例は認めない
実施前の交流	必要あり	必要なし	必要あり
学用品の補助	多い ※平成 3 0 年度に限り、学校を移っていただく児童が対象	少ない ※平成 3 0 年度に限り、学校を移っていただく児童が対象	多い ※平成 3 1 年度に限り、学校を移っていただく児童が対象
メリット ・デメリット	・周知期間が短く、準備期間が少ない ・在校生の転校がある ・通学はこれまでと大きく変わらない	・周知期間は短いが在校生の転校がない（希望者のみ） ・通学は 1 年生だけになる可能性がある	・周知期間が取れ、準備期間も取れるが、在校生の転校がある ・通学は 4 年生以下と、ある程度の集団でいくことができる
適正化の効果	大きい	小さい	やや大きい

（中学校区）

	修正前	案 1	案 2
実施年度	修正案 1 と同じ	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度
方法		・新 1 年生から移行（現小学 5 年生から） ・平成 3 0 年度に限り、従来校に兄弟が通学している生徒のみ従来校も選択できる	同左
実施前の交流		必要なし	同左
学用品の補助		必要なし	同左

【今後のスケジュール】

- 2 月上旬～ 各小学校で説明会
- 2 月中旬～ 各地域での説明会
- 3 月 教育委員会で決定

東輝・詳徳中学校ブロック学校規模適正化実施計画（修正案）

